

研究活動

山口 幸 照

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表 の年月	発行所、発表雑誌又は 発表学会等の名称	概 要	編者・著者名 (共著の場合 のみ記入)	該当頁数
(著書) 社会福祉施設と地域福祉	単著	1998. 1 (平成10年1月)	きょうぶん社出版部	地域福祉の時代において、社会福祉施設の役割と位置について論じた。最近の家族の変容と介護問題、老人ホームの内容と仕組み、在宅サービスの内容と現状、イギリスの高齢者福祉の特徴、事例研究、老人ホームと社会福祉協議会・行政・地域住民・利用者・職員などとの関係性について考察した。 地域福祉推進における老人ホームの役割と機能、課題と展望について述べた。	山口幸照	
社会福祉構造改革と地域福祉の実践	共著	1998. 8 (平成10年8月)	東洋堂企画出版社	担当部分 「地域福祉推進における社会福祉施設の位置」 地域福祉を推進する上で社会福祉施設のはたす役割について論述した。従来の社会福祉施設についての問題点を整理し、将来の社会福祉施設の地域福祉推進の前提と条件について論述した。	大橋謙策・三浦文夫 山口幸照	
日韓地域福祉比較研究	共著	2000. 5 (平成12年5月)	ナナム出版(韓国)	日本と韓国の地域福祉の構成要素(福祉教育、ボランティア、地域福祉計画、コミュニティーワーク、社会福祉施設の社会化・地域化、自立生活支援、NPO等)を明らかにし、現在の問題点と課題について考察したものである。	大橋謙策・三浦文夫 山口幸照	
密教福祉Ⅰ	共著	2001. 3 (平成13年3月)	御法インターナショナル	宗教と福祉の関係性を明らかにする動きが、昨今非常に盛んになってきているが、ここでは、特に密教との関係について内外の関係者が論述したものである。担当分野は「密教福祉の立場」	藤田和正・山口幸照	
密教福祉Ⅱ	共著	2002. 3 (平成14年3月)	御法インターナショナル	弘法大師の思想性を社会福祉実践に生かそうとする試みである。担当分野は「密教における宗教的ケア」	藤田和正・山口幸照	
新義真言教学の研究	共著	2002. 11 (平成14年11月)	大蔵出版	頼暲僧正700年御遠忌記念論文集。真言宗と仏教者会事業の展開		
密教福祉Ⅲ	共著	2003. 3 (平成15年3月)	御法インターナショナル	弘法大師の思想性を社会福祉実践に生かそうとする試みである。密教と社会事業の展開と方法について	藤田和正・山口幸照	
小野塚隆南古希記念論文集	共著	2003. 8 (平成15年8月)	大正大学	真言宗豊山派の近代社会事業について詳細に論述した		
川崎大師仏教文化	共著	2003. 8 (平成15年8月)	川崎大師教学研究	密教と福祉のリレーションシップについて論述した		
精神保健福祉士辞典	共著	2004. 7 (平成16年7月)	中央法規出版	精神保健福祉の地域福祉関連の各項目を担当執筆した。		
地域福祉アクションプラン	監修	2004. 12 (平成16年12月)	美原町	美原町の将来の地域福祉のあり方について報告をしたものである		
今僧侶は何をすべきか	共著	2005. 1 (平成17年1月)	高野山布教師会	現代僧侶の社会的実践について報告し宗教的情操教育について考察した		
新心に残るケースワーク	共著	2005. 4 (平成17年4月)	三学出版	コミュニティーワークの実践について高齢者とのふれあいを通じて考察した		
高齢者と現代社会	監修	2006. 3 (平成18年3月)	和歌山人権啓発センター 啓発冊子「きらめき」	これからの高齢者の過ごし方について考察した		
心ふれあう福祉社会を創ろう	単著	2007. 1 (平成19年1月)	和歌山人権研究所	社会福祉の歴史と現状について考察した		
福田亮成古希記念論文集	共著	2007. 3 (平成19年3月)	智山勸学会	密教理趣の宇宙、密教福祉の立場について考察した		
戦後仏教社会事業の歴史	共著	2007. 5 (平成19年5月)	法蔵館	戦後真言宗の社会福祉について考察した		
新義真言宗の歴史と思想	編著	2007. 6 (平成19年6月)	ノンブル社	新義真言宗の歴史と思想について考察した		
差別戒名について 人権講話集「絆」	編著	2007. 6 (平成19年6月)	高野山大学	戒名についてその歴史と現状について考察した		
加藤精一古希記念論文集	共著	2007. 12 (平成19年12月)	ノンブル社	戦後真言宗豊山派の社会福祉について考察した		
(論文) 市貝町社会福祉協議会の 現状と課題	共著	1984. 3 (昭和59年3月)	全国社会福祉協議会 社会福祉研修センター 地域福祉活動 研究' 83	市貝町社会福祉協議会の現状と課題を明らかにし、本来あるべき社会福祉協議会の活動を考察した。社会福祉協議会が連絡調整活動やふれあいサービス活動だけでなく、地域住民のいのちとくらしと健康をまもる活動へと脱皮することの必要性を述べた。		
在宅現場の現実と未来	共著	1993. 7 (平成5年7月)	日本医療企画月刊ば んぼう	介護現場から医療・保健・福祉のそれぞれの立場で、具体的にあるべき介護について論述した。きたるべき21世紀の介護について、様々な角度から論述した。		
介護負担軽減に関する先	共著	1995. 3	「高齢化社会におけ	担当部分		

先行研究と現行在宅福祉サービスにおける介護負担軽減		(平成7年3月)	る家族の介護負担の軽減に関する研究 日本社会事業大学	第2章「先行研究と現行在宅福祉サービスにおける介護負担軽減」 介護負担軽減に関する文献についてマクロ・ミクロ双方またネガティブ・ポジティブ双方にわたって検討した。 ①実態調査 ②負担感 ③虐待 ④介護意欲に分類し系統的に検討した。今後の本研究に多くの示唆を与えた。 社会保障制度と社会福祉との関係性について平田富太郎、小山路男、社会保障制度審議会報告を並立的に比較研究をし社会保障制度と社会福祉について論述した。今後の社会福祉の枠組みについて論述した。 社会福祉施設が地域住民と共に歩むにはどのような方策があるのかを考察したものである。 社会福祉施設が真に地域住民にステイグマなしに受け入れられ、地域の重要な社会資源として活用されていくことの大切さを事例をとおして紹介したものである。 少子・高齢社会に備えて、悔いのない介護をすると共に、自分の老後についてもどのようにするのかを考察した。社会福祉施設をどのように活用し地域自立支援を支えるシステムにしていくのかを考察した。 大正期において活発に活動を展開したところの仏教社会事業協会について論述した。現代社会におけるNPOの原型ともいえる活動について資料をもとに裏付けた。
社会保障制度と社会福祉	共著	1998. 2 (平成10年2月)	とちぎソーシャルワーク研究	
98' 日本生命財団高齢社会福祉助成事業シンポジウム報告書「壁のない老人づくりをめざして」	共著	1998. 3 (平成10年3月)	財団法人日本生命財団	
ゆるやかな連帯と協働へ	共著	1998. 10 (平成10年10月)	東京都板橋区・ふれあい21	
大正期の仏教社会事業	共著	2000. 3 (平成12年3月)	現代密教第13号	
21世紀への提言 一人間・社会そして宗教	共著	2000. 8 (平成12年8月)	智山教化資料26集	「福祉とボランティア」 日本におけるボランティア活動の歴史と現状を分析し、あるべきボランティア活動について考察した。特にボランティア元年といわれた阪神大震災について論述した。 家族の歴史の変容を明らかにし、家族の介護問題について論述した。誰がどこで要高齢者のケアをするのかについて考察した。さらに地域社会と介護、社会福祉施設の社会化にも論述した。 1999年の教員免許法が改正され、教科「福祉」の教員免許状が新設されたことについて、その問題点と課題について論述した。専門高校教員養成のカリキュラムのあり方について考察した。 真言宗智山派の社会事業について論述した。 高齢者の福祉サービス利用意向に関する実態調査をT県I町において行った報告書である。高齢者は本当は在宅での福祉サービスを受けたいと考えているが、実際は要介護状態になると施設に入所せざるをえないというアンビバレンツの状態にあることを浮き彫りにした。
家族をめぐる問題 —新しい家族像を求めて	共著	2001. 8 (平成13年8月)	智山教化資料27集	
専門高校教員養成の一考察—教科「福祉」担当教員を中心に—	共著	2001. 2 (平成13年2月)	高野山大学論叢36巻	
近代仏教社会事業実践の成立と終焉 高齢者の福祉サービス利用意向調査報告書	共著 共著	2001. 9 (平成13年9月) 2002. 2 (平成14年2月)	日本仏教社会福祉学会報32号 高野山大学論叢37巻	
日本における社会福祉サービスの内容と展開		2002. 3 (平成14年3月)	現代密教第15号	日本の社会福祉サービスが施設福祉サービスから在宅福祉サービスへと発展していく現状と問題点について論述した。これからの社会福祉は、地域福祉が中心となって展開している内容について考察した。
コミュニケーションをめぐる諸問題	共著	2002. 8 (平成14年8月)	智山教化資料28集	家族とコミュニケーション 家族とコミュニケーションについて様々な観点から論述した 家族のあり方について検討した
結婚と差別	共著	2003. 8 (平成15年8月)	智山教化資料29集	障害者と差別 障害者の差別の現状と課題について論述した
社会福祉施設の社会化に関する一考察 善悪を考える	共著 共著	2004. 3 (平成16年3月) 2004. 8 (平成16年8月)	現代密教代17号 智山教化資料30集	解決すべき問題を明らかにした 社会福祉施設の社会化について、地域福祉の立場から考察した。 社会福祉における善悪について考察した
宗教教育と福祉教育	単著	2004. 12 (平成16年12月)	高野山真言宗教学部	戦前の宗教教育と戦後の福祉教育との類似性について考察した
高齢者と人権	単著	2005. 6 (平成17年6月)	高野山真言宗同和局	高齢者の人権をどう守っていくのかについて考察した
社会福祉思想と密教思想の結節		2007. 3 (平成19年3月)	智山学報56集	密教思想と社会福祉思想について類似点と相違点について考察した
宗教的慈善と重源	共著	2008. 2 (平成20年2月)	高野山大学論叢43巻	重源の思想・実践について考察した

(学会発表等) 日韓における社会福祉施設 の運営と課題	1997. 3 (平成9年3月)	日韓地域福祉実践セ ミナー分科会	日韓の社会福祉施設の運営について 比較検討を行った。日韓の社会福祉施設 のあり方について明確化した。
在宅福祉サービス利用体 験と特別養護老人ホーム入 所	1998. 6 (平成10年6月)	日本地域福祉学会	特別養護老人ホームに入所する以前 に在宅福祉サービスを利用しているか どうかは入所者の生死に関わる。いわ ゆるリロケーションの問題について発 表した。実証的研究である。
日本の社会福祉サービスの 現状と課題	1998. 9 (平成10年9月)	韓国デイサービス協 議会ソウルセミナー	日本の社会福祉サービスについて、 特に在宅福祉サービスの内容と問題点 について韓国のデイサービスと比較し ながら発表した。国際的視点の必要性 を明らかにした。
韓国におけるデイサービ スセンターのボランティア 活動について	1998. 11 (平成10年11月)	日本福祉教育・ボラ ンティア学習学会	韓国デイサービスにおいてボランテ ィア活動がどのように行われているか について事例基にして報告した。社会 資源が少ない中でボランティアをどの ように活用し、地域福祉の推進をはか るのかについて発表した。
高齢者の福祉サービス利 用意向調査報告	1999. 6 (平成11年6月)	淑徳大学学内学会	高齢者の福祉サービス利用意向に関 する実態調査をT県I町において行っ た報告書である。在宅と施設サービス について要介護高齢者になったらどの ように利用して行きたいかについて発 表した。
社会福祉における「自 立」と仏教における「自 力」について	1999. 9 (平成11年9月)	日本仏教社会福祉学 会	仏教における自力・他力・加持力に ついて仏教各宗派の考え方を紹介した 上で、社会福祉における自立との関係 性について考察発表した。近年の社会福 祉は、制度・政策・システム論ばかり が先行し、その基本とも言うべき思 想・理念・哲学が存在しないのではな いかという疑問から出発し、仏教の考 え方がその参考になるのではないかと の仮説を発表した。
高齢者の福祉サービス利 用意向調査から	1999. 10 (平成11年10月)	日本社会福祉学会	高齢者の福祉サービス利用意向に関 する実態調査をT県I町において行っ た報告書である。在宅と施設サービス について要介護高齢者になったらどの ように利用して行きたいかについて発 表した。
大正期における仏教社会 事業協会の成立と終焉	2000. 9 (平成12年9月)	日本仏教社会福祉学会	大正期においても豊かにもってい た仏教社会事業協会の活動について 報告した。第2次大戦後、福祉は国 家責任において実施されることが国是 となったが、戦前は、公私協働の側 面が強かったことについて報告した。
地域福祉実践の方法と課 題	2000. 11 (平成12年11月)	高野山大学学内学会	地域福祉のミクロとマクロの間に おいて最も重要なメゾ的展開におい ての実践方法について報告した。地 域福祉実践の方法と課題の構成要件 について提示した。
密教福祉の展開方法と可 能性	2001. 5 (平成13年5月)	智山勸学会	密教福祉という思想が、新たな側 面において可能かどうかについて報 告した。宗教と福祉の関係性につ いて詳しく報告した。
障害者の差別	2001. 11 (平成13年11月)	同和研究会	障害者の差別についての歴史と現 状を報告した。差別の構造はすべて 同じ。
密教福祉の可能性	2001. 12 (平成13年12月)	日本仏教社会福祉学会	密教と社会福祉の融合がどのよう な展開をすれば可能なのかについて 考察した。
密教福祉思想の構築	2004. 12 (平成16年12月)	日本密教福祉学会	密教福祉思想の構築と展開について
近代社会福祉思想	2005. 12 (平成17年12月)	日本密教福祉学会	明治以降の社会福祉の展開について
インクルージョンと密教福祉		国際密教学術大会	密教と社会福祉の関係性について発表
社会福祉思想と密教	2006. 9 (平成18年9月)	日本仏教社会福祉学会	密教の福祉での果たす役割について
密教と福祉	2006. 12 (平成18年12月)	日本密教福祉学会	実践密教のあり方について
戦後智山派の社会事業	2009. 5 (平成21年5月)	智山勸学会	
五智と密教福祉思想	2009. 9 (平成21年9月)	日本仏教社会福祉学会	
(その他) 和歌山県ふれあい教育事 業	2001年度 (平成13年) 2002年度 (平成14年) 2003年度 (平成15年) 2004年度 (平成16年) 2005年度 (平成17年) 2006年度 (平成18年) 2007年度 (平成19年)	和歌山県立伊都高校	高校と大学の連携の一環として、 和歌山県立伊都高校看護福祉科にお いて、授業を担当した。

福祉科教育	2001年度 (平成13年)	高野山高校	高校福祉科における授業の取り組み方について、年間を通して、高校教員を指導した。
和歌山県社協推進協議会	2002年度 (平成14年)	和歌山県社協	和歌山県下の市町村社協の研修をおこなった。地域福祉実践の展開と方法について指導した。
和歌山県福祉教育推進協議会	2001年度 (平成13年)	和歌山県教育委員会	和歌山県内の小中学校における福祉教育の進め方について指導した。これからの福祉教育の課題について指導した。
和歌山コンソーシアム	2002年度 (平成14年)	和歌山県	和歌山市、橋本市において社会福祉の現状と課題について講演を行った
スピリチュアルケア ワーカー研修会	2003年度 (平成15年)	高野山真言宗	高野山真言宗住職・僧侶・寺族を対象に密教福祉理論、社会福祉理論を講義し単位の認定を行った
7. 密教福祉講習会	2003年度 (平成15年)	高野山真言宗	高野山真言宗住職・僧侶・寺族を対象に密教福祉入門の講義を行った
心の相談員研修会	2003年度 (平成15年)	高野山真言宗	高野山真言宗住職・僧侶・寺族を対象に社会福祉入門の講義を行った
放送大学講義	2005年度 (平成17年)	放送大学	社会福祉入門を講義した。 1 単位分相当
(講演)			
高齢者と人権	2005. 3月 (平成17年3月)	高野山同和委員総会講演	高野山真言宗宗務支所長対象
高齢者と人権	同上. 7月 (平成17年7月)	広島県宗務支所総会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
ボランティアの心	同上. 8月 (平成17年8月)	新潟県教区講習会	真言宗智山派住職・僧侶が対象
高野山と人権	同上. 7月 (平成17年7月)	広島県宗務支所総会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
高齢者と人権	同上. 9月 (平成17年9月)	石川県宗務支所総会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
高齢者と人権	同上. 9月 (平成17年9月)	福岡県宗務支所総会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
高野山と人権	2006. 2月 (平成18年2月)	長崎県宗務支所総会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
高野山と人権	同上. 6月 (平成18年6月)	熊本県宗務支所総会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
福祉と人権	同上. 10月 (平成18年10月)	東日本支所会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
社会福祉の展開と方法	同上. 11月 (平成18年11月)	島根県宗務支所総会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
真言宗と福祉	2007. 5 (平成19年5月)	岡山美作宗務支所総会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
(人権講演)			
和歌山人権講演	2006. 1月 (平成18年1月)	和歌山人権研究所	高齢者と人権
和歌山人権講演	2006. 4月 (平成18年4月)	和歌山人権研究所	福祉と人権
人権研究啓発集会	2007. 2月 (平成19年2月)	部落解放・人権研究所	人権救済の社会システムづくり
和歌山人権講演	2007. 8月 (平成19年8月)	和歌山人権研究所	福祉と人権
和歌山人権講演	2007. 10月 (平成19年10月)	和歌山人権研究所	福祉と人権

学会等および社会における主な活動		山口幸照
1987.4～至現在(昭和62年4月～現在)	日本地域福祉学会会員	
1994.4～至現在(平成6年4月～現在)	日本社会福祉学会会員	
1994.4～至現在(平成6年4月～現在)	日本仏教社会福祉学会会員	
1996.4～至現在(平成8年4月～現在)	日本福祉教育・ボランティア学習学会会員	
1999.4～至現在(平成11年4月～現在)	日本密教学会会員	
1999.4～至現在(平成11年4月～現在)	智山勸学会会員	
1999.7～2010.3(平成11年7月～平成22年3月)	日本宗教学会会員	
2000.5～至現在(平成12年5月～現在)	社会事業史学会会員	
2001.4～至現在(平成13年4月～現在)	戒律文化研究会会員	
2004.4～至現在(平成16年4月～現在)	日本密教福祉学会会長	
2006.7～至現在(平成18年7月～現在)	関東社会事業史研究会運営委員	
2008.7～至現在(平成20年7月～現在)	日本福祉文化学会会員	
1987.4～1991.3(昭和62年4月～平成3年3月)	全国社会福祉協議会地域福祉特別委員会常任理事	
1990.6～1998.6(平成2年6月～平成10年6月)	社会福祉法人市貝町社会福祉協議会副会長	
1992.4～1998.3(平成4年4月～平成10年3月)	日本社会福祉施設経営者協議会会員	
1992.4～1998.3(平成4年4月～平成10年3月)	社会福祉法人の場会理事長代理	
1993.4～1998.6(平成5年4月～平成10年6月)	日本福祉施設士会会員	
1995.4～1998.3(平成7年4月～平成10年3月)	栃木県福祉施設士会会長	
1993.4～1998.6(平成5年4月～平成10年6月)	日本福祉施設士会代議員	
1996.4～1998.6(平成8年4月～平成10年6月)	日本社会福祉施設青年経営者会会員	
1997.4～1998.3(平成9年4月～平成10年3月)	日本社会福祉施設青年経営者会委員	
1997.4～2000.3(平成9年4月～平成12年3月)	日本ソーシャルワーカー協会資格問題検討委員会委員	
1987.4～2010.3(昭和62年4月～平成22年3月)	日本ソーシャルワーカー協会会員	
1996.4～至現在(平成8年4月～現在)	NPO法人日本地域福祉研究所特任理事・研究員	
1996.4～2003.3(平成8年4月～平成15年3月)	日韓地域福祉比較研究所幹事長	
1999.4～2006.4(平成11年4月～平成18年4月)	真言宗智山派智山伝法院現代宗教研究室研究員	
1999.4～2006.4(平成11年4月～平成18年4月)	真言宗智山派教学研修所講師	
1999.4～2006.4(平成11年4月～平成18年4月)	真言宗智山派教化講習所講師	
1999.4～2006.4(平成11年4月～平成18年4月)	真言宗智山派教区講習会講師	
1999.4～2010.3(平成11年4月～平成22年3月)	社会福祉法人同愛会顧問	
2010.4～至現在(平成22年4月～現在)	社会福祉法人同愛会特認理事	
2000.4～2004.4(平成12年4月～平成16年4月)	文部科学省高等学校新教科「福祉」に係る現職教員等講習会講師	
2000.6～2004.3(平成12年6月～平成16年3月)	密教福祉研究会副会長	
2000.11～2010.3(平成12年11月～平成22年3月)	真言宗智山派奉修局出版委員会専門委員	
2001.4～2005.3(平成13年4月～平成17年3月)	高野山真言宗社会的ひきこもり委員会委員	
2000.4～2005.3(平成12年4月～平成16年3月)	高野山大学講師	
2000.4～2004.3(平成12年4月～平成16年3月)	高野山高校講師	
2001.4～至現在(平成13年4月～現在)	和歌山県立伊都高校講師	
2002.3～至現在(平成14年3月～現在)	高野山大学社会福祉学会会長	
2002.4～2004.3(平成14年4月～平成16年3月)	日本仏教社会福祉学会理事	
2003.3～至現在(平成15年3月～現在)	韓国社会福祉法人幸福創造理事	
2003.4～2005.3(平成15年4月～平成17年3月)	大阪府美原町地域福祉計画策定委員会委員長	
2003.4～2007.3(平成15年4月～平成19年3月)	高野山真言宗社会福祉委員会委員	
2003.4～2007.3(平成15年4月～平成19年3月)	高野山真言宗心の相談員講師	
2003.4～2007.3(平成15年4月～平成19年3月)	高野山真言宗密教福祉講習会講師	
2003.4～2007.3(平成15年4月～平成19年3月)	高野山真言宗スピリチュアルケアワーカー養成委員会委員	
2003.4～2007.3(平成15年4月～平成19年3月)	日本密教福祉研究所主席研究員兼教授	
2004.4～2008.3(平成16年4月～平成20年3月)	種智院大学講師	
2005.4～至現在(平成17年4月～現在)	高野山大学准教授	
2005.4～2006.3(平成17年4月～平成18年3月)	放送大学講師	
2009.4～2010.3(平成21年4月～平成22年3月)	放送大学講師	
2006.4～2007.3(平成18年4月～平成19年3月)	堺市障害者認定審査会委員	
大学行政への係わり(所属委員会)		
平成12年度(2000年)	選挙管理委員会(委員長)	
平成13年度(2001年)	学生募集対策委員会 同和研究会 学生部協議会	
	選挙管理委員会(委員長)	
平成14年度(2002年)	学生募集対策委員会 学生部協議会	
平成15年度(2003年)	学生募集対策委員会 同和研究会 教職課程担当者会議	
平成16年度(2004年)	同和研究会(会長) 教職課程担当者会議	

平成17年度(2005年)	人権問題防止対策委員会 教職課程担当者会議
平成18年度(2006年)	人権問題防止対策委員会 教職課程担当者会議 同和研究会(会長)
平成19年度(2007年)	学生募集戦略本部委員 人権問題防止対策委員会(委員長) 人権研究会(会長) 教職課程担当者会議 人権教育啓発推進室長
平成20年度(2008年)	学生募集戦略本部 人権研究会 人権問題防止対策委員会 図書館協議会
平成21年度(2009年)	学生部協議会 人権問題防止対策委員会 密教文化研究所協議会 密教文化研究所兼任研究所員
平成22年度(2010年)	学生部協議会 人権問題防止対策委員会

所属	文学部	職名	准教授	氏名	山口幸照	大学院の授業担当の有無 (有)
教育活動						
教育上の主な業績		年月日	概要			
1. 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成15年度 (2003年) 平成16年度 (2004年)	社会福祉援助技術現場実習指導の講義において、理論と実践の差異を明確にするために、二つのことに留意した。①は社会福祉施設を運営している方二人にゲストで講義に2回ずつ来ていただいた。具体的事例を中心に講義していただいた。②は現場実習を経験した後、理論と実践のリアリティーショックについて作文を書いてもらいそれを発表させた。理論と実践の差異について確認した。			
2. 作成した教科書、 教材、参考書		平成8年1月 (1996年1月) 平成16年7月 (2004年7月) 平成17年4月 (2005年4月) 平成18年3月 (2006年3月)	社会福祉施設と地域福祉、きょうぶん社出版部 精神保健福祉士辞典、中央法規出版 新心に残るケースワーク、三学出版 きらめき、和歌山県人権啓発センター			
3. 教育方法・教育実践 に関する発表、講演等		平成14年11月30日 (2002年11月30日) 平成18年5月19日 (2006年5月19日)	和歌山県教育委員会主催「福祉科教育のあり方」について、和歌山県内高等学校の福祉科担当の教員に対して指導した。 和歌山県高校生徒指導研究協議会講演 「福祉教育にあり方」について講演した。 対象者は学校長並びに生徒指導担当教員だ会った。			
4. その他教育活動上 特記すべき事項		平成14年10月12日 ～13日 (2002年10月12-13日) 平成14年10月19日 (2002年10月19日) 平成15年5月25日 (2003年5月25日) 平成15年9月9日 (2003年9月9日) 平成15年度 (2003年) 平成16年度 (2004年) 平成17年度 (2005年) 平成18年度 (2006年) 平成19年度 (2007年) 平成20年度 (2008年) 平成21年度 (2009年) 平成15年度 (2003年) 平成16年度 (2004年) 平成15年9月25日	和歌山県社会福祉協議会主催、市町村社会福祉協議会 研修会において講演した。 和歌山大学・和歌山県立医科大学・高野山大学の合同 シンポジウムにおいて講演した。 和歌山県地域福祉講座「地域の福祉を考える」におい て講演した。 高野山大学加行道場において密教福祉について講義した。 和歌山県立伊都高校において高大連携のもと授業を担当した。 一年間 高野山高校教員に福祉科指導法を指導した。 一年間 教職課程介護体験実習指導を担当講義した。			

(2003年9月25日)	
平成16年9月29日	
(2004年9月29日)	
平成17年7月13日	
(2005年7月13日)	
平成18年7月19日	
(2006年7月19日)	
平成16年11月16日	美原町地域福祉シンポジウム講演
(2004年11月16日)	
平成18年4月20日	和歌山県人権研究所主催研修会の記念講演
(2006年4月20日)	
平成18年11月21日	新潟県敬和学園大学主催研修会の記念講演
(2006年11月21日)	
平成18年12月1日	兵庫県リハビリテーションセンター主催の講義
(2006年12月1日)	
平成19年8月18日	和歌山県人権研究所主催研修会の記念講演
(2007年8月18日)	